

“つくる”川から、みんなで“育てる”川へ ふるさとの川をつくり育てる全国大会 ～ふるさとの川整備の軌跡から新たな川づくりを探る～

【大会開催の趣旨】

周辺の景観や地域づくりと一体となった河川整備を地元の市町村や住民の方々の参加を求めて行う「ふるさとの川整備事業」が昭和62年に「ふるさとの川モデル事業」として創設されて以来、今年で15年目を迎えました。

この間、河川整備への住民参加や川が川らしくあるための多自然型川づくりの進展、まちづくりや地域整備との連携の強化等、河川を取り巻く状況は「河川法」や「地方自治法」等の制度改正等も加わり大きく変化してきています。

本大会はこのような背景を踏まえ、これまで実施してきた「ふるさとの川整備事業」を題材に、「川をつくる」から「つくり育てる」視点をテーマに、全国各地でふるさとの川づくりに実際に携わってきた多くの関係者の参加を呼びかけ、地域を越えた新たな交流を行い、実務者各自の感性の錬磨と実践技術の向上を目的に開催するものです。

【プログラム】

■7月18日(水)13:00～17:00

講演・報告会およびパネルディスカッション

●特別講演

『ふるさとの川の文化と住民参加』
道上 正純 教授（鳥取大学学長）

●基調報告

『河川整備と地方分権』
～ふるさとの川整備の反省と将来～
松田 芳夫（財リバーフロント整備センター理事長）

●パネルディスカッション

『ふるさとの川に期待するものは何か』
パネリスト
小谷 寛二（興大学社会情報学部教授）
藤原 修（東京大学大学院工学系研究科教授）
吉村 伸一（麻吉村伸一流域計画室代表）
榎本 敬子（北九州市建設都市計画部都市計画課主査）
田中 昌子（山口県情報公開審議会委員）
島谷 幸宏（独立行政法人土木研究所水循環グループ
河川生態チーム上席研究員）
鎌田 忠夫（宇部市長）
コーディネーター
森野 美穂（日本経済新聞記者）

懇親会 17:45～

宇部全日空ホテル

■7月19日(木)9:00～

事例報告会および現地見学会

●各地の取組みと情報の交流

『ふるさとの川整備事例について』
真綿川（宇部市）
茂濃川（恵庭市）
荒川（福島市）
津和野川（津和野町）
紫川（北九州市）

『川にかかわる各種の取組みについて』
川に学ぶ体験活動 について
ともだちになろうふるさとの川
真綿川、川を育てる里親制度
山口県の流域住民との連携の取組み
コメンテーター
小谷 寛二（興大学社会情報学部教授）

●現地見学会(11:45～)

真綿川(宇部市)～きらら博会場(阿知須町)

■7月18日(水)10:00～19日(木)11:00

パネル展示

- 全国のふるさとの川整備事例の紹介
- 全国で行われている民間団体の取組みの紹介
- 地元、宇部市、山口県での取組みの紹介

※プログラム内容は変更する場合があります。

【会場までのご案内】

- JR宇部新川駅から徒歩3分。
- 山口宇部空港、JR小郡駅より会場までシャトルバスを運行します。

※駐車場は台数に限りがございますので、できるだけ上記交通機関をご利用下さい。

【お問い合わせ】

宇部市 土木建設部 河川水路課内「ふるさとの川をつくり育てる実行委員会」事務局
TEL：0836-34-8422 担当：原田

